

諏訪・岡谷地方の経済概況速報

平成20年4月

(平成20年3月末調査)

平成20年4月11日

長野県岡谷市郷田二丁目1番8号

諏訪信用金庫
経営相談室

<http://www.suwashinkin.co.jp>

TEL 0266(23)4567

FAX 0266(23)8044

		実 数	前年同期比	
有効求人倍率【2月】	諏訪公共職業安定所管内	1.22倍	△0.13ポイント	
	岡谷公共職業安定所管内	1.48倍	△0.35ポイント	
手形交換高【3月】 (諏訪手形交換所扱)	枚 数	10,631枚	+705枚	
	金 額	13,370百万円	+2,626百万円	
	うち不渡り発生状況	枚 数	2枚	+1枚
		金 額	600千円	△1,400千円
車庫証明取扱件数【3月】(諏訪・岡谷自動車協会管内)		1,860件	△8.6%	
新設住宅着工件数【19年4月～20年2月】(諏訪管内)		1,450戸	△343戸	

地域の概況

●製造業

デジタル一眼レフカメラ関連企業の受注は引き続き堅調に推移している。自動車関連部品は、メーカーにより発注状況は区々で一部に弱含み感が聞かれる。半導体関連などの電気機械の受注状況は弱含みとなっており、工作機械や専用機の生産は横這いの状況であるが引き合いが幾分弱含んでいる。このような中、地域の中堅企業に内製化の動きがみられる。

3月の企業短期経済観測調査（短観）では長野県内の製造業の業況判断DIは△2と3年振りにマイナスに転じた。原材料価格の高止まりによる収益の悪化やサプライム問題によるアメリカ国内の消費低迷、円高や株安などの不安要素から諏訪地域の製造業の業況に幾分減速感がみられる。

●商業

諏訪地方の3月の天候は、月の平均気温が統計開始以来第2位となるなど記録的な高温となった。ただし、下旬には寒気が入り込み気温の低い日が続いた。

衣料品は、上中旬の暖かさから春物衣料に動きがみられたものの、下旬の冷え込みにより月間を通しては低調となった。食料品は、商品の値上げが相次ぐなかでチラシ等による価格比較により消費者が店舗間を移動しており、特売日と通常営業日で客数が以前より大きく変わるという声が聞かれる。ホームセンターや大型家電店では、新生活関連のシングル用品の動きは良く、商業全体では実用品は安定しているものの、高級品やファッション的要素の強い商品の動きが低調であり消費者の低価格志向がみられる。

ガソリン税の暫定税率失効により、多くのガソリンスタンドは4月1日より値下げに踏み切った。

●観光業

長野県観光部がまとめた2007年の観光地利用者統計調査によると、NHK大河ドラマ「風林火山」の影響もあり利用者数は上諏訪温泉・諏訪湖は4,903千人で前年比16.4%の増加、諏訪大社（上社・下社合算）1,394千人で前年比9.6%の増加となった。一方、白樺湖・蓼科・車山高原は若干の減少となった。

3月のスキー場の入り込み状況は、2月の降雪により積雪量が豊富であったことからシーズン終盤でも滑走が可能で雪不足であった昨年を上回った。上諏訪温泉の宿泊客数は、前年を上回ったところもあるが、総体では幾分下回った模様である。

飲食店は、歓送迎会シーズンで売り上げを伸ばしたところもみられる。

●建設業

市町村の3月の発注工事は、建築工事5件106百万円、土木工事・下水道工事7件13百万円、その他工事2件12百万円の合計14件131百万円で、災害復旧工事のあった前年同月比では△39件、△86百万円の減少となっている。

県関係の3月の公共工事（地元業者受注分）は13件428百万円で、平成19年4月～平成20年3月の累計契約額は221件7,500百万円と前年同期累計比では△45件△282百万円の減少となった。

民間工事は、諏訪地方の2月の新設住宅着工件数は88戸で前年同期比△68戸減少、平成19年4月から平成20年2月までの累計着工件数は1,450戸で前年同月累計比△343戸減少となっている。マンションの着工が多かった昨年に比べ、前年同月比及び累計比ともに昨を下回っている。

●雇用

2月の有効求人倍率は、諏訪公共職業安定所1.22倍、岡谷公共職業安定所1.48倍で、諏訪地域の有効求人倍率は1.31倍と全国（0.97倍）及び長野県（1.12倍）を上回っている。

諏訪職安と岡谷職安を合わせた2月の新規求人（全数）は1,390人で前月比△65人の減少、前年同月比△147人（△9.6%）の減少となっている。また、新規求職者数は692人で前年同月比△55人（△7.4%）の減少となった。

諏訪地域の有効求人倍率は、平成15年10月以降53ヶ月連続して1倍を上回っているものの、昨年10月より5ヶ月連続して前年同月比を下回っている。

業種別動向

1. 電気機械

プリント基板	企業により区々であるが総体の受注は弱含んでおり、先行きに慎重な見方をしているところが多い。
コンデンサー	自動車向けは比較的堅調である。
プリンター	大型プリンター、サーマルプリンターの受注は横這いの状況である。
コンダクター・リレー	直近の受注状況は安定している。

2. 輸送用機械

自動車	受注は企業により区々であるが、幾分弱含みの状況もみられる。
ピストンリング・シリンダーライナー	下請企業の受注は弱含みで推移している。
船外機	若干の生産調整があるも、下請企業の受注は堅調である。

3. 一般機械

工作機械	自動車関連部品の加工機械は幾分弱含みであるものの、足元の受注は横這い状況である。
専用機・省力機器	企業により区々であるが、受注状況は幾分弱含みの状況である。
搬送用機械	デジタル家電企業の受注が増加しており、食品関連企業の受注も堅調に推移している。
金型	企業により区々であるが、新規受注の動きが出始めているところもある。
アルミダイキャスト	取扱い製品により受注状況は区々となっているが、総体では前期並みの推移となっている。

4. カメラ・レンズ

デジタルカメラ	全国のデジタルカメラの2月の生産台数は717万台で、前月比32.4%増、前年同月比25.4%増となっている。2月の出荷台数は国内出荷85万台、海外出荷605万台で、出荷台数全体では前月比17.5%増、前年同月比26.0%増となっている。(カメラ映像機器工業会：2008年1月分から統計参加企業が増加したことにより、「対比」の定義が厳密ではないため、前月比、前年同月比の数値はあくまで「参考値」とする。)
プロジェクター	デジタル一眼レフカメラ関連企業は堅調な生産状況となっている。メーカーの販売状況は好調であるが、海外生産比率の高まりから国内での部品加工は減少している。

レンズ	業界全体では海外生産が主体であるが、足元の受注が増加しているところもみられる。
5. 織 維	
ニット	春物・初夏物の生産時期を迎えている。ヤング層の購買意欲は旺盛であるが、他の年代の購買意欲が上がらないために幾分発注が抑えられている傾向にある。
6. 食 品	
寒天	今期の生産は不順な天候から落ち込んだ。国産品が見直されており、このところの荷動きは良くなっている。
味噌	出荷は平年並みであるが、原材料価格の上昇に苦慮している。
7. 製 材	
	諏訪地方の2月の木造住宅着工件数は44戸で前年同月比△20戸減少した。決算月に伴う駆け込み需要もみられたが、引き合いは引き続き弱含みである。
8. 建 設	
公共工事	3月に地元業者が受注した県関係の公共工事は、発注機関別に諏訪建設事務所6件、その他7件の合計13件、契約金額428百万円となっている。平成19年4月～平成20年3月の累計契約は221件7,500百万円で前年同期累計比では△45件△282百万円減少した。 市町村の3月の発注工事は、建築工事5件106百万円、土木工事・下水道工事7件13百万円、その他工事2件12百万円の合計14件131百万円で、前年同月比では△39件、△86百万円の減少となった。 災害復旧工事のあった昨年比では、県・市町村ともに発注金額が減少している。
民間工事	諏訪地方の2月の新設住宅着工件数は88戸で前年同期比△68戸減少、平成19年4月～平成20年2月までの累計着工件数は1,450戸で前年同月累計比△343戸減少となっている。マンションの着工が多かった昨年に比べ、前年同月比及び累計比ともに昨年を下回っている。大型の建築工事、個人の住宅建設ともに弱含みの状況が続いている。

9. 商業

諏訪地方の3月の天候は、月の平均気温が統計開始以来第2位となるなど記録的な高温となった。ただし、下旬には寒気が入り込み気温の低い日が続いた。

衣料品は、上中旬の暖かさから春物衣料に動きがみられたものの、下旬の冷え込みにより低調となった。食料品は、商品の値上げが相次ぐなかでチラシによる価格比較により消費者が店舗間を移動している。ガソリン税の暫定税率失効により、多くのガソリンスタンドは4月1日より値下げに踏み切った。

衣料	上・中旬は暖かい日が続いたため春物衣料に動きが出始めたが、下旬の寒気により月間を通しては弱含みとなった。
食料品	4月より食料品の値上げが相次ぐこともあり、小麦粉等の日持ちする食品の駆け込み需要がみられた。また、チラシ等による特売日と通常営業日で客数が大きく変わるという声が聞かれた。大手の小売店はP・B商品の比率を高めている。
家電製品	新生活関連のシングル用品の売れ行きは好調であった。
自動車	諏訪・岡谷を合わせた3月の車庫証明件数（軽自動車除く）は1,860台で前年同月比△174台（△8.6%）の減少であったが、軽自動車の販売台数は684台で前年同月比+48台（7.5%）と増加に転じた。
ホームセンター	園芸用品等の売り上げが伸び、新生活関連商品の動きも良いが低価格志向が強い。

10. 観光

長野県観光部がまとめた2007年の観光地利用者統計調査によると、NHK大河ドラマ「風林火山」の影響もあり利用者数は上諏訪温泉・諏訪湖は4,903千人で前年比16.4%の増加、諏訪大社（上社・下社合算）1,394千人で前年比9.6%の増加となった。一方、白樺湖・蓼科・車山高原は若干の減少となった。

3月のスキー場の入り込み状況は、積雪量が豊富であったことからシーズン終盤でも滑走が可能で雪不足であった昨年を上回った。飲食店は、歓送迎会等により売り上げを伸ばした。

上諏訪温泉	NHK大河ドラマ「風林火山」の放映終了の影響もあり、年明け以降団体客、個人客ともに減少傾向にある。宿泊客数は前年を上回ったところもあるが、総体では幾分下回った模様である。
蓼科・白樺湖・車山	2月の降雪により積雪量が豊富であったことから、スキー場の売り上げは暖冬で雪不足であった昨年を上回った。宿泊客数は、ホテル旅館により区々であるが前年並みの模様である。
下諏訪温泉	宴会客・宿泊客数は前年並みであるが、客単価が低下しており売り上げが伸びないとの声が聞かれる。
諏訪大社	上社・下社合わせての参拝客数は48千人で、前年同月比△3千人の減少となり前年並みとなった。